

2013年1月1日から2023年12月31日に

周産・女性診療科で分娩された方へ

日本は外国に比べて低出生体重のお子さんの割合や痩せたお母さんの割合が多いことが知られています。歴史的な疫学研究の結果、低い出生体重は将来の生活習慣病のリスクになることが示されてきたため、これまで出生体重を目安にお母さんの体重管理が検討されてきました。しかし、胎児の発育状態を評価するには妊婦健診・胎児健診で検査する推定体重や母体の体重の継時的変化のパターンがより重要ではないかと思われます。そこで、今までに当科で分娩された方の臨床情報を収集し、胎児発育の軌跡（トラジェクトリー）と妊婦体重変化の関係について解析検討を行うことになりました。

匿名化によりあなたのプライバシーは守られますが、登録を拒否することは可能であり、登録拒否によってあなたが不利益を被ることはありません。登録を拒否される方や疑問点、質問がある方は下記連絡先までご連絡ください。

課題名：胎児発育トラジェクトリー及び妊婦体重変化の後方視的解析

承認番号： 第 M2017-337 番

実施場所：東京医科歯科大学病院 周産・女性診療科

研究実施期間： 東京医科歯科大学医学部倫理委員会承認後～2029年3月31日

研究内容：2013年1月1日から2023年12月31日に周産・女性診療科で分娩された方の診療情報（年齢、国籍、身長、妊娠前体重、既往、経産数、妊娠合併症、基礎疾患、母体健診、胎児健診）を収集し、胎児発育や母体体重の変化を統計学的に解析します。研究成果は学術論文及び学会発表として国内外で公表する予定です。収集したデータは、本研究のみに使用し、その他の目的で使用することはありません。なお、研究にあたっては個人を特定できるような情報は削除してデータを取り扱い、研究の発表の際も個人情報情報は使用いたしません。本研究は大学の運営費を用いて行われます。研究登録のための費用負担および謝礼はありません。本研究は企業等との利益相反※はありません。研究の実施にあたっては、利益相反マネジメント委員会において審議され、適切であると判断されております。

※利益相反とは、研究者が企業など、自分の所属する機関以外から研究資金等を提供してもらうことによって、研究結果が特定の企業にとって都合のよいものになっているのではないか・研究結果の公表が公正に行われないのではないかなどの疑問が第三者から見て生じかねない状態のことを指します。

問い合わせ等の連絡先：

代表研究機関：東京医科歯科大学病院 周産・女性診療科

研究責任者：東京医科歯科大学病院 周産・女性診療科 教授・宮坂尚幸

〒113-8519 東京都文京区湯島 1-5-45

03-5803- 5684（対応可能時間帯：平日 9:00～17:00）

苦情窓口：東京医科歯科大学医学部総務掛

03-5803-5096（対応可能時間帯：平日 9:00～17:00）